

第 4 表 主要事務事業実施の状況及び事務事業評価結果

No.	事務事業名	決算額 (千円)	財源内訳 (千円)			事業内容及び成果
			国道 支出金	その他	一般 財源	
1	大学等による高等教育推進のための奨学金貸付事業	41,238		41,238		修学が困難な者に対する奨学金の貸付を行った。 (第5表貸付及び償還の状況、1貸付金の表のとおり。)
2	芦別市奨学基金運用収益積立金	75		75		基金の運用で生じた利息の積み立てを行った。
3	芦別市奨学基金積立金	0				奨学金貸与の原資として基金に積み立てる寄附金の申し入れがなかった。
4	大学等による高等教育奨学金管理事務	28			28	大学等への修学が困難な者に対して、修学を奨励し、また、奨学金を返還中の者に対しては、適切な返還を促した。
合計		41,341		41,313	28	

事務事業評価							
1. 必要性	2. 成果	3. 要望	4. 行革の取組			今後の方向性	総合判定
			事務事業の休止・廃止など	コスト縮減など	他事業との統合や民間委託		
高い	変わらない	無	無	無	無	貸付要望に応え、奨学金の貸与を行っていく。	継続
普通	変わらない	無	無	無	無	適切に貸付原資である奨学基金を管理していく。	継続
普通	変わらない	無	無	無	無	適切に貸付原資である奨学基金を管理していく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	返還遅延者に対する督促通知等の郵送のほか、悪質な返還遅延者には厳格な対応を図るなど、管理事務を適切に実施していく。	継続

1. 必要性（市が行わなければならない理由など）

2. 成果（市民福祉の向上は図られたのかなど）

3. 要望（市民・団体・議会からの要望など）

4. 行財政改革の取組

①事務事業の休止・廃止など

②コスト縮減など

③他の事業との統合や民間委託等

※総合判定（休止・廃止・終了・拡充・縮小・継続・改善）

高い・普通・低い

向上した・変わらない・低下した

有・無

有・無

有・無

有・無